

森林からクリーンな電気エネルギーを作り出す

# 木質バイオマス発電オペレーター



木質バイオマス発電とは丸太や枝、葉、木の皮をくだいて作る木質バイオマスという燃料をボイラーで燃やして水をわかし、蒸気でタービンを回して電気を作る方法です。オペレーターはボイラーやタービンなどの設備が問題なく動いているかを管理・点検します。再生可能な木質バイオマスは持続可能でクリーンな燃料で、しかもすてられるはずだった地元の丸太や木の皮を買って作っているの地域林業をもり上げる役割もあります。



## このお仕事について

震災がきっかけでできた会社というところに興味を持ち、会社見学に参加しました。実際の発電設備は巨大で、重機も大きく、他ではあまり見られない設備に関わるところに魅力を感じました。

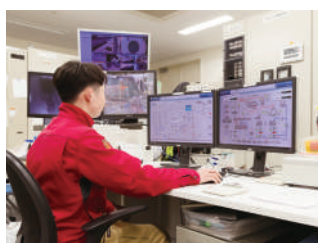
## 木質バイオマス発電オペレーターってどんなお仕事をしているの？

### ボイラーの巡回点検



一日に2回、ボイラーに入れる木質燃料がつまっていないか、温度や圧力が高すぎないか、わかつ水がタンクにあるかななどを点検し、ボイラーが止まらないようにします。

### 中央操作室での監視業務



発電所全体の動きをモニターで見て、管理できる場所です。作られた電力の量も確認できます。野田バイオパワーJPでは一日に約2万6800世帯分の電力を作っています。

### タービン・発電機の巡回点検



ボイラーで作られた高温高压の蒸気でタービンを回して発電するため、蒸気のもれがないか、蒸気の温度が高過ぎないか、変な音がしないかななどを点検し安全を確認します。

### 大きな機械・重機の運転や操作



ホイールローダーという重機を使って木をくだいた燃料用のチップを倉庫の中で混ぜたり、燃料投入口へ運んだりします。

## この会社に教えてもらったよ！

野田村の地の利を活かしたバイオマス発電事業

## 株式会社野田バイオパワー JP

九戸郡野田村大字野田22-52-3 TEL/0194-75-4666

創業/2016年8月 従業員数/27名



## 株式会社野田バイオパワー JPはこんな仕事をしています

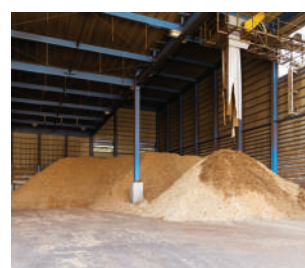
### 木材、木を砕いたチップなど燃料の仕入れ

林業をおこなう会社や森林組合から燃料にしてもいい木材を買取ります。燃料には曲がったり傷付いたりした木や間引きした木材などが使われます。



### 燃料運搬車の受入と燃料の管理

丸太やチップをのせたトラックをそれぞれの置き場に誘導したり、木材の量を管理したり、チップの水分の量を整えて燃えやすい状態にしたりします。



### 燃料の投入

チップとバークを混ぜた燃料を、ホイールローダーで燃料貯留槽の投入口に入れます。木質燃料は投入口からベルトコンベアで燃料貯留槽の中に運ばれます。



### 設備のメンテナンス

きちんと使えるようにホイールローダーやベルトコンベア、丸太をチップにする切削機、粉碎機などの機械を掃除したり、動く部分に油をぬったりします。



## ✓ CHECK! 自治体や森林組合とともに林業をもり上げる。災害時は電力の提供も

岩手県森林組合連合会と電力の売り上げの一部を森林の整備や人材育成のための助成金にする取り組みをしています。また、火災や大雨にあって利用の難しい木の活用にも積極的です。他にも野田村と停電の時に避難所に蓄電池で電気を提供する約束をしています。



こんな人も  
働いて  
います！

- 電気主任技術者 ■ ボイラー・タービン主任技術者 ■ 総務
- 燃料調達・配車管理 ■ 燃料受入・投入